

《梦十夜》之第六夜 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E3_80_8A_E6_A2_A6_E5_8D_81_E5_c105_146231.htm (うんけい)が国寺(ごくじ)の山で仁王(におう)を刻んでいると云う判だから、散ながら行っていると、自分より先にもう大集まって、しきりに下(げ)ばひょう)をやっていた。山の前五六の所には、大きな赤松があって、そのが斜(なな)めに山の麓(いらか)をして、い青空まで伸(の)びている。松のと朱(しゅぬり)のが互いに照(うつ)り合ってみごとにえる。その上松の位地が好い。の左の端を眼障(めざわり)にならないように、斜(はす)に切って行って、上になるほど幅をく屋根まで突出(つきだ)しているのが何となく古である。代とも思われる。ところがているものは、みんな自分と同じく、明治の人である。その中(うち)でも夫が一番多い。待(つじまち)をして退屈だから立っているに相ない。「大きなもんだなあ」と云っている。「人を(こしら)えるよりもよっぽど骨が折れるだろう」とも云っている。そうかと思うと、「へえ仁王だね。今でも仁王を(ほ)るのかね。へえそうかね。私(わっし)やまた仁王はみんな古いのばかりかと思ってた」と云った男がある。「どうもそうですね。なんだってえますぜ。昔からがいて、仁王ほどいい人あいて云いますぜ。何でも日本武尊(やまとだけのみこと)よりもいんだってえからね」としかけた男もある。この男は尻を端折(はしょ)って、帽子を被(かぶ)らずにいた。よほど教育な男とえる。は物人の判には委着(とんじゃく)なく(のみ)と槌(つち)をかし

ている。いっこう振り向きもしない。高い所につて、仁王の?/SPAN>(あたり)をしきりに(ほ)り(ぬ)いて行く。はに小さい帽子(えぼし)のようなものをせて、素袍(すおう)だか何だかわからない大きな袖(そで)を背中(せなか)で括(くく)っている。その子がいかにも古くさい。わいわい云ってる物人とはまるでり合が取れないようである。自分はどうして今分までが生きているのかなと思った。どうも不思議な事があるものだと考えながら、やはり立ってていた。しかしの方では不思議とも奇体ともとんと感じ得ない子で一生命になっている。仰向(あおむ)いてこの度を眺めていた一人の若い男が、自分の方を振り向いて、「さすがはだな。眼中に我々なした。天下の英雄はただ仁王と我(わ)れとあるのみと云う度だ。天晴(あっぱ)れただ」と云って(ほ)め出した。自分はこの言を面白いと思った。それでちょっと若い男の方を見ると、若い男は、すかさず、「あのと槌の使い方をたまえ。大自在(だいじざい)の妙境にしている」と云った。は今太い眉(まゆ)を一寸(いっすん)の高さに横へりいて、のを(たて)に返すや否や斜(は)すに、上から槌を打(う)ち下(おろ)した。い木を一(ひ)と刻(きざ)みに削(けず)って、厚い木屑(きくず)が槌の声にじてんだと思ったら、小鼻のおっ(ぴら)いた怒り鼻の面がたちまち浮き上がって来た。その刀(とう)の入れ方がいかにもであった。そうして少しも疑念を(さしはさ)んでおらんようにえた。「よくああ造作(むぞうさ)にをを使って、思うような眉(まみえ)や鼻ができるものだな」と自分はある感心したから独言(ひとりごと)のように言った。するとさっきの若い男が、「なに、あれは眉

や鼻をで作るんじゃない。あの通りの眉や鼻が木の中に埋(うま)っているのを、(のみ)と槌(つち)の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだからけっしてうはずはない」と云った。自分はこの始めて刻とはそんなものかと思い出した。はたしてそうならにでもできる事だと思い出した。それで急に自分も仁王が(ほ)ってみたくなったら物をやめてさっそく家(うち)へった。道具箱から(のみ)と金槌(かなづち)を持ち出して、へ出てると、せんだっての暴(あらし)で倒れた(かし)を、薪(まき)にするつもりで、木挽(こびき)に挽(ひ)かせた手な奴(やつ)が、たくさんんであった。自分は一番大きいのをんで、いよく(ほ)り始めてたが、不幸にして、仁王は当らなかった。その次のにもく掘り当てる事ができなかった。三番目のにも仁王はいなかった。自分はんである薪を片(かた)っ端(ぱし)からってたが、どれもこれも仁王を(かく)しているのはなかった。ついに明治の木にはとうてい仁王は埋(うま)っていないものだと思った。それでが今日(きょう)まで生きている理由もほぼ解った。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com